

【復興道路】一般国道106号宮古西道路 (仮称)松山トンネル完成！！

～本格復興邁進年！宮古盛岡横断道路宮古～箱石間で初めてのトンネル完成！～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が「復興道路」として宮古市松山～根市間で整備を進めている宮古盛岡横断道路（一般国道106号）宮古西道路について、平成27年3月26日に（仮称）松山トンネル（L=73.0m）が完成しました。

（仮称）松山トンネルは、平成26年7月31日に安全祈願祭が開催された後、これまでトンネル掘削工事等を進めてきました。（仮称）松山トンネルは、トンネル上部に確認されている松山館跡を保全するためにトンネル工法を採用しており、地山の地質状況が悪く、トンネル全線で特殊な工法である補助工法が必要となるなど、掘削には高度な技術を要しました。このため、トンネル掘削時の地山の緩みを抑える工法や、地盤の動きをリアルタイムで観測しながら施工するなど、施工性や安全性に配慮した新技術等を積極的に採用し、掘削を進めてきました。

その結果、平成26年10月6日に着工から約2ヶ月という短期間でトンネルが貫通し、その後、覆工コンクリートや排水施設等の工事を進め、平成27年3月26日にトンネル本体工が完成しました。

国と県が連携して整備を進めている宮古盛岡横断道路の宮古箱石道路（宮古～箱石）では、初のトンネル本体工完成となります。

平成27年3月26日に現地で行われた完成式では、県、宮古市、地権者、工事関係者等約60名が参加し、発注者及び来賓挨拶の後、工事着手から完成に至るまでの工事経過を動画で紹介し、関係者によるテープカット、くす玉開披が行われました。その後、貴重な土地をご提供くださった地権者を代表し、刈屋裕之様と5人のお孫さんを先頭に、参加者一同で完成したトンネルの通り初めが行われました。

沿岸広域振興局横田副局長挨拶

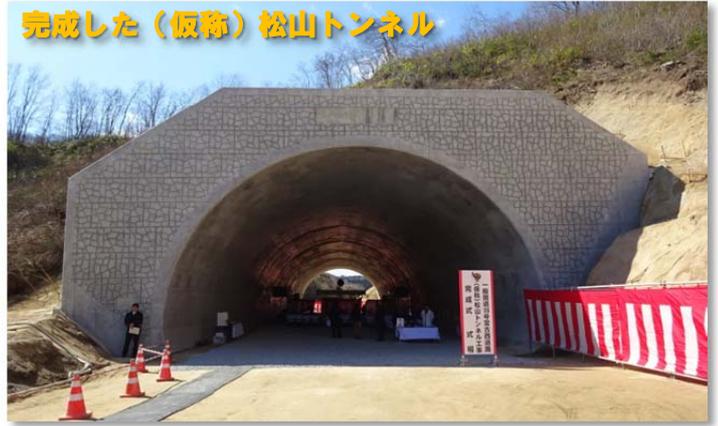


テープカットとくす玉開披



県では、今年を「本格復興邁進年」と位置づけ、復興を強力に推し進めており、宮古西道路についても、この（仮称）松山トンネルの完成を契機に、平成27年度からは（仮称）田鎖IC～（仮称）根市IC間の工事にも着手するなど、早期全線開通に向けて全力で事業を推進していきます。

完成した（仮称）松山トンネル



【宮古西道路の事業概要】

県では、東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能を確保するとともに、水産業等の復興を支援する災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

宮古西道路は、宮古盛岡横断道路（一般国道106号）の一部として、三陸復興道路整備事業の「復興道路」に位置付けられており、国と連携して県が整備を進めています。

- (1) 計画延長：3.6km
- (2) 計画幅員：一般部 7.0（13.5）m、橋梁・トンネル部 7.0（12.0）m
- (3) 事業期間：平成15年度～平成30年度
- (4) 全体事業費：13,000百万円（平成26年度末までの進捗率約52%）
- (5) 主要構造物：トンネル2箇所、橋梁2橋

宮古西道路の事業概要

